

地域医療機関合同セミナーの報告書

2018年6月15日

報告者：京都薬科大学臨床薬学教育研究センター講師 今西 孝至
京都薬科大学臨床薬学教育研究センター講師

がんプロプログラムコーディネーター 本橋 秀之

日時：2018年4月26日（日）18:00～20:15

場所：京都薬科大学愛学館3階愛学ホール（A31 講義室）

主催：文部科学省多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

共催：5年次生在宅研修アドバンスドプログラム

参加者数：117名（学部生69名、大学院生7名、教職員34名、本学以外7名）

概略：本地域医療機関合同セミナーは文部科学省多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランの主催で、大学院生および学部学生に向けて啓発活動の一環として行われた。



後藤 直正 学長



在宅研修アドバンスドプログラム履修生 演

内容：

まず後藤学長の開会の挨拶で、5年次生在宅研修アドバンスドプログラムとがんプロフェッショナル養成プランが紹介された。

前半は、「5年次生在宅研修アドバンスドプログラム」に参加した学部生4名による研修報告「在宅医療に求められる薬剤師～在宅研修アドバンスドプログラムを終えて～」が行われた。本研修の目的は、2025年問題への対応策の一つである在宅医療について、在宅医療における薬剤師の役割を学ぶだけでなく、研修医や看護学生などの他職種と一緒に研修

し、学生のうちから多職種連携（IPE/IPW）について学び、地域における在宅チーム医療を肌で感じ、在宅医療における薬剤師の在り方を考えることである。本研修に参加した学生たちは、①多職種カンファレンス、②看取り、③介護予防、④フィジカルアセスメント、などについて指導薬剤師をはじめ、指導医や指導看護師、指導ケアマネジャーから学び、「在宅医療で薬剤師に求められること」や「在宅医療で薬剤師にできること」について自分たちで導き出した答えを発表していた。その答えが『薬剤師は、薬を介した接点だけではなく、在宅チーム医療を俯瞰し、患者を“診る”姿勢を持つ。』であった。このことは、現在の薬剤師に求められている「対物業務から対人業務へ」の姿であり、この良い経験をした学生たちが今期待されている地域医療を支えていく立派な薬剤師になると実感できた。

後半は渡辺西賀茂診療所の渡辺康介先生（本学客員教授）による特別講演「在宅医療の現状と課題」が行われた。まず京都で起こった認知症の母と心中を図った事件を例に、現在の認知症患者を囲む種々問題の提起があった。続いて「認知症と看取り」において、実際に経験し最後まで看取った独居患者の症例について紹介があった。この例では多職種が連携することで、困難を乗り越えて最後まで自宅で看取ることができた症例だった。その後、認知症の人に優しいコミュニティーを構築するための取り組みについてお話しがあった。具体的にはお節介カフェや中学校での啓蒙演劇などだった。次に胃がんの末期患者の症例について紹介され、患者の望みに最後の時まで向き合う取り組みを紹介された。講演の最終部では、これからのは在宅医療・看取りのなかで薬剤師が果たすことができる役割の可能性と、そのため受け止めるべき薬剤師・薬学の課題についてご指摘いただいた。看取りも含めた非常に示唆に富んだ印象的な講演で、聴講した教職員・学生にも多くを得ることができたと考えられた。

最後は臨床薬学教育研究センター楠本教授の閉会の挨拶でセミナーは終了した。



渡辺 康介 先生



楠本 正明 教授



セミナー風景

地域医療機関合同セミナー アンケート集計結果

日時：2018年4月26日（木） 18:00～20:15

会場：京都薬科大学 愛学ホール（A31講義室）

参加人数：117名（本学：110名（学部生：69名、大学院生：7名、教職員：34名））

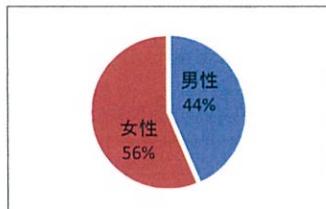
（本学以外：7名（渡辺西賀茂診療所：4名、ゆう薬局：2名、音羽病院：1名））

アンケート回答：78名（回答率67%）

1. 聴講された方について

① 性別をお知らせください。

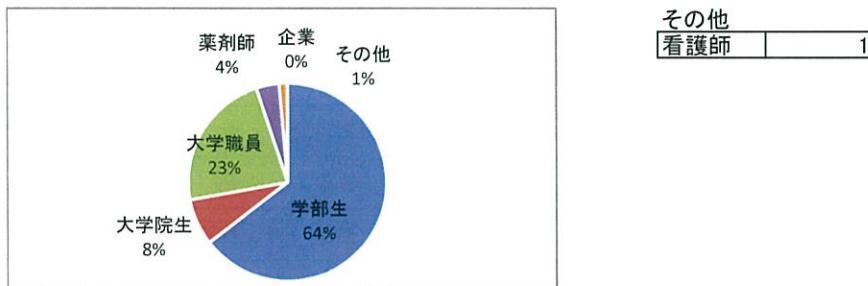
	男性	女性	計
人数	34	44	78
%	44%	56%	100%



② 職業をお知らせください。

	学部生	大学院生	大学職員	薬剤師	企業	その他	計
人数	51	6	18	3	0	1	79
%	65%	8%	23%	4%	0%	1%	100%

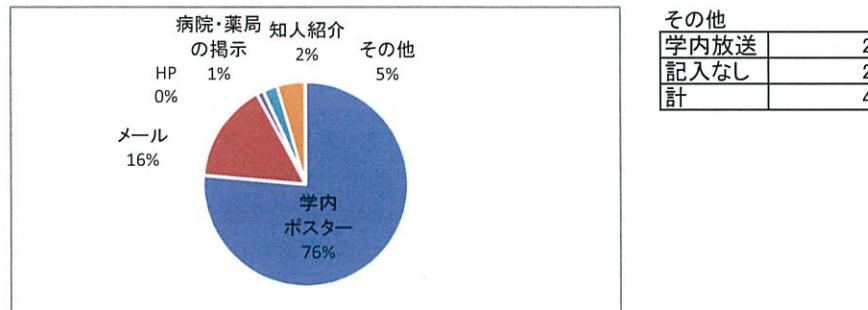
（複数回答あり）



2. 本講座の開催は、何でお知りになりましたか。

	学内ポスター	メール	HP	病院・薬局の掲示	知人紹介	その他	計
人数	68	14	0	1	2	4	89
%	76%	16%	0%	1%	2%	4%	100%

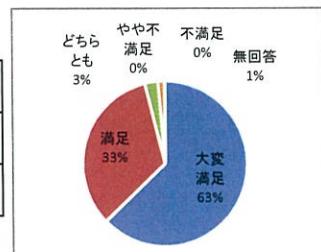
（複数回答あり）



3.プログラムについて

①今回のプログラムの内容はいかがでしたか。

	大変満足	満足	どちらとも やや不満足	やや不 満足	不満足	無回答	計
人数	49	26	2	0	0	1	78
%	63%	33%	3%	0%	0%	1%	100%

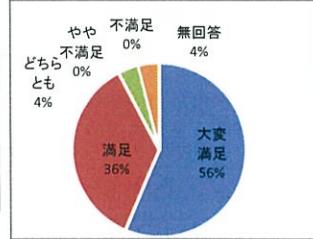


理由	評価	性	職業	回答No.
学生の実際の声、実際のレベルが分かったため。	満足	男	大学職員	1
在宅の現状を知る事ができ、自分も何かしたいと思いました。	大変満足	男	大学院生	2
実際に関わってこられた方々のお話を聞いて、とても勉強になりました。	大変満足	女	学部生	5
医療現場の最前線を体験された4名の学生の発表、とても立派でした。認知症ケアについても新たな気づきも多く勉強になりました。	大変満足	男	大学職員	7
薬学生の実習報告がすばらしかった。	大変満足	女	学部生	11
アドバンスプログラムの実際を知ることができた。	大変満足	男	大学職員	15
学生の経験を共有できしたこと 65～80歳の生き方を考えるきっかけをいただけたこと	大変満足	男	大学職員	16
在宅医療での問題点などがよくわかりました。	大変満足	女	学部生	17
在宅医療についての現状と課題についてよく知ることができ、将来の薬剤師がどのようなことをすればいいのかわかったので良かった。	満足	男	学部生	18
貴重なお話を聞くことができた。 授業だけでは絶対に知ることのない情報を知ることができた。	大変満足	女	学部生	21
医療と在宅の関係が理解できた（一緒だと思っていた。）薬剤師の在宅における役割がイメージできた。報告された学生は貴重な体験をされたなと思う。是非、在宅医療を支える薬剤師になってほしい。	大変満足	男	大学職員	24
感銘を受けました。	大変満足	女	大学職員	27
学生視点、教員視点の双方から見れるのがよかったです。	満足	男	学部生	30
現在話題に事欠かない在宅医療について話を聞いて良かった。	満足	男	学部生	36
学生が体験し、感じたことを話して頂いたのでとても心に残りました。 在宅医療といつても様々な接し方があり、場面があると感じました。	満足	女	学部生	43
現場の素直な感想がきてよかったです。	大変満足	女	学部生	48
特に学生実習のレポートが非常によかったです。	大変満足	女	学部生	49
何ができるか？何ができるか？はとても考えさせられた。	大変満足	男	学部生	53
在宅研修アドバンスプログラムの報告会が大変素晴らしかったため。	大変満足	女	学部生	55
在宅の実習に行かれた先輩が学んできた事がすごくわかりやすく伝わってきました。学んだ上で考えたことがたくさんあって、是非医療人になって頂きたいと思いました。	大変満足	女	学部生	58
在宅医療に関してより知ることができた。考えるきっかけになった。	大変満足	女	学部生	59
実習を通して学べる事はとても大きいと感じ、自分も実習に出た時多くのことを身に付けて帰ってきたいと思えた。	大変満足	男	学部生	60
実習を通して感じることが自分なりにありました。同じ年の方々の発表を聞かせていただいてみんなさんがどのような思いで実習にとりんでこられたかを知って感動しました。薬剤師の将来について考えさせていただけるよい機会になりました。	大変満足	女	学部生	62
在宅研修に参加された学生の生の話は、自分も共感することがあり非常に学ぶことが多かったです。今後高齢社会が進む中で最前線の高度な医療も重要だが、在宅の需要が増えることとそこでの薬剤師の必要性を感じることができた。	大変満足	女	学部生	63
同回生の発表を聞いてとても感動しました。在宅医療で薬剤師ができることはまだ多くあって、活躍のフィールドが広いことを感じました。薬剤師の未来に希望が持てるプログラムであったと感じました。	大変満足	女	学部生	64
学生による在宅研修の報告会を聞いて、私が実習で知ることができなかつた在宅の現状や同じ学生という立場での考え方や思いを聞くことができて良かったです。また、個人的に関心のある認知症と看取りのお話を聞いていて、今後の医療の在り方を考えるきっかけとなりました。	大変満足	女	学部生	65
在宅医療の意味について考えさせられました。	大変満足	女	学部生	66

理由	評価	性	職業	回答No.
実際に研修をうけた学生から学んだことや考えたことを聞けるのが勉強になった。また、異なった視点で、認知症などの実際問題難しい事例での講演が、すごく考えさせられた。	大変満足	女	学部生	67
実際に在家研修アドバンスプログラムを履修した学生さんの生の声を聞くことができ、実習にこれから行く身としてとても身近に聞くことができました。	大変満足	女	学部生	68
実際に経験した方の話を聞く機会が少ないので、大変勉強になりました。	大変満足	女	大学院生	69
まだ実習は先の話ですが、実際にこのような内容のものもあると知ることができてよかったです。	大変満足	女	学部生	70
在家研修アドバンスプログラムというものの存在を知ることができ、またその参加学生の話を聞くことができたため。早い段階で薬剤師の理想と実際のギャップを知ることができたのも良い機会だったため。独居死の事を知り、明確に問題視することができたため。	大変満足	女	学部生	71
実習にもまだ行っていないので現場のイメージが少しできたから。	満足	女	学部生	74
在家医療の現状や課題をよく理解することができた。	大変満足	男	大学職員	75
大学で学んだことと現実は違うことはよく聞いていたが、現場に出た人の話を実際に聞くことで、その差がどんなもので大きいのか知ることができ、今後の大学生活に何を考え、学んでいくのかを深く考えさせられるきっかけとなった。	大変満足	女	学部生	76

②プログラムの構成はいかがでしたか。

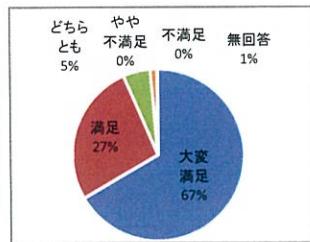
	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	44	28	3	0	0	3	78
%	56%	36%	4%	0%	0%	4%	100%



理由	評価	性	職業	回答No.
学生が話す時間を多く確保されていたため。	満足	男	大学職員	1
学生の目線、先生の目線で話が聞けたのは良かったです。	大変満足	男	大学院生	2
先輩方4人の話をきいて先輩方が体験してこられたお話を聞いた上で渡辺先生の話を聞いて違う視点からの話を聞けたから。	大変満足	女	学部生	5
早い時間帯での開催でしたら、よりたくさんの方が参加されたのかなと感じました。	大変満足	男	大学職員	7
先輩らや医師の意見をきけてよかったです。	大変満足	女	学部生	17
中だゆみすることなく、集中して聞くことができた。	大変満足	女	学部生	21
チーム医療のことが学べて良かった。	満足	男	学部生	33
良いと思う。	満足	男	学部生	36
異なる目線で様々な考え方、話を聞けて良かったです。	満足	女	学部生	43
1つ1つのプログラムについて、1時間じっくり聴講できたため。	満足	女	学部生	55
興味深かった。	大変満足	女	学部生	59
学生の話、先生の話を聞かせていただいて、理想と現実の違いや、これから求められることについて学べてよかったです。	大変満足	女	学部生	62
まずは学生として感じた薬剤師の現状と今後の考えを聞き、具体的に薬剤師ができるべき何ができるか考えられた。その上で診療所での取り組みなどを聞き、実際に起きていることや長年医療に関ったことからわかる問題を知ることができた。	大変満足	女	学部生	63
実際に実習へ行った方からの生の感想と現場の医師からの生の声を聞くことができたため。在家医療の課題を学ぶことができる良いプログラムでした。	大変満足	女	学部生	64
長すぎず短すぎず、講演に関心を持ちながら聞くことができました。また、現場での経験をもとに講演していただく内容だったのでとても勉強になりました。	大変満足	女	学部生	65
休憩もあってよかったです。1時間は、少し長いかもと思ってしまったが…。	大変満足	女	学部生	67
前半の薬学生目線でのお話もよかったですし、後半のベテランの診療所の医師の目線というのも新鮮でよかったです。	大変満足	女	大学院生	69
6回生さんの体験談という比較的身近な話を聞いてから、在家医療全体としての問題点を聞くという流れが頭に入りやすかったです。	大変満足	女	学部生	71

4.講師・演者について

	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	52	21	4	0	0	1	78
%	67%	27%	5%	0%	0%	1%	100%

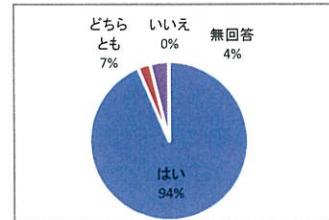


理由	評価	性	職業	回答No.
先輩方も先生もとてもすばらしい講演でした。	大変満足	女	学部生	5
実習を受けた学生の声を聞くことができ、また受け入れていただいた施設側の話を同時に聞く機会があつてよかったです。	満足	女	大学職員	13
演者について、内容を話す時に詰まることが多かったので。	どちらとも	男	学部生	18
貴重なお話を多方面から聞くことができた。	大変満足	女	学部生	21
京都府・京都市の事例が理解できた。京都の地域医療に精通されていたから。	大変満足	男	大学職員	24
地域医療に関する講演は貴重である。nの数が増えるほど有効であると考える。	満足	男	学部生	30
特別講演は特に楽しかった。	満足	男	学部生	36
在宅医療の看取りについて現状を教えてもらえて良かったです。 在宅医療は患者さんの生活と深く関わり、支えていくことだと思いました。	満足	女	学部生	43
実際の在宅医療でのお話を聞く機会が少ないので、話をきけてよかったです。 がん患者の方のしたい事を“おせつかい”で叶えるところがすごいと思いました。	満足	女	学部生	50
在宅医療の問題点について分かったため。	満足	女	学部生	55
学生が感じた在宅と、医師が考えるこれからのはり方を両方聴けて、在宅に興味が湧きました。	大変満足	女	学部生	58
近い先輩たちの話も、興味をもって聞けたし、渡辺先生のお話も非常に勉強になつた。	大変満足	女	学部生	59
話を聞かせていただいたとても感動しました。在宅医療に真摯に向き合つてこられることがわかりました。	大変満足	女	学部生	62
同じ立場である学生の話を聞いて考えさせられることも多かったです。普段とは違い、同じ目標を持ち夢に向かっている者の講演は心にストンと入るものだったように感じた。	大変満足	女	学部生	63
実習生：実習に行って感じたことをリアリティーのある話で伝えて頂けて感動しました。これから薬剤師がどう医療に関わっていくべきかを自分達の言葉でまとめられていたのが素晴らしいかったです。 渡辺先生：薬剤師が在宅医療にどう介入できるのか、何が求められているかを学ぶことができ、貴重なお話を聞くことができました。	大変満足	女	学部生	64
学生の声を聞くことができ、さらに実際に日頃から在宅医療をされている先生のお話を聞くことができて、それぞれ異なる立場からの話を聞けたことはとても貴重な時間となりました。	大変満足	女	学部生	65
先輩の実習体験内容が具体的にわかつて良かったです。	大変満足	女	学部生	66
学生の演者というのははじめてで、聴講したいとそられた。	大変満足	女	学部生	67
前半の薬学生目線でのお話をよかったですし、後半のベテランの診療所の医師の目線というのも新鮮でよかったです。	大変満足	女	大学院生	69
学生という身近な立場の方と、現場で働いていらっしゃる先生から、テーマは共通していても全く視点の異なる話が聞けて非常にためになつたため。	大変満足	女	学部生	71
学生たちは本当に立派に成長していると感じた。2週間と短い期間だが、本当に内容の濃い実習を経験してきたことが伝わってきた。	大変満足	男	大学職員	75

5.その他

①このような講座があれば、また受講したいですか。

	はい	どちらとも	いいえ	無回答	計
人数	73	2	0	3	78
%	94%	3%	0%	4%	100%



②他に「がんに関する内容」で聴講してみたい内容がありましたらご記入ください。

聴講してみたい内容	次回受講希望	性	職業	回答No.
小児がんに対する薬剤師の関わり	はい	男	大学職員	12
質問にもあったと思いますが、小児がんなどといった小児にスポットを当てた内容を聞いてみたいです。	はい	女	学部生	21
小児がんに関する事例	はい	男	大学職員	24
がん治療の現在やそれに関連した話を聞いてみたいと思った。	はい	男	学部生	36
ホスピス関連、終末期医療	はい	女	学部生	47
学生向けにがん薬物治療専門薬剤師等の専門薬剤師のお話を聴きたいです。	無回答	女	学部生	52
がん専門薬剤師の仕事内容について	はい	女	学部生	55
がんの末期治療に対する薬剤師の働き 妊婦さんや若い女性で妊娠を望む方のホルモン治療等の抗がん剤の使い方	はい	女	学部生	62
病院あるいは薬局で活躍されている薬剤師の方のお話を聞いてみたいです。	はい	女	学部生	65
今日は薬剤師が在宅でどのように活躍できるのかという広いテーマだったので、具体的ながん患者さんへの薬剤師の対応、仕事も聞きたいです。	はい	女	大学院生	69
がんに限らないのですが、企業にも様々な職種(研究、開発、MR、治験など)がいらっしゃり、中にはどのようなことをされているのか分からないものも多いので、実際にそれぞれの職につかれた方のお話を聞きたいです。	はい	女	学部生	71

③本セミナーを聴講されてお気づきの点がありましたら、自由にご記入ください。

お気づきの点	次回受講希望	性	職業	回答No.
もっと多くの学生さんに聞いてもらうべき内容だったと思います。もちろん教員も。	はい	男	大学院生	2
本学も大阪薬科大学同様に医科大学との結びつきをより強めるべきと感じます。	はい	男	大学職員	7
開始の時間がもう少し早い方が参加しやすいと思いました。	はい	女	学部生	43
地域医療については、地域に密着した医療としてなんとなくしか分かっていなかったのですが、今回の講演で地域医療の問題点や薬剤師としてできることについて深く学ぶ機会となり、とても良かったです。	はい	女	学部生	68
マイクの音量が大きすぎた。	はい	女	学部生	74